

食にかかわる専門家をささえる

# NPO法人 食生態学実践フォーラム



〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 4-16-10 コーポ小野 202

TEL & FAX : 03-5925-3780

2008.9.22 Vol.16

E-mail : forum0314@angel.ocn.ne.jp

http://www.shokuseitaigaku.com/

## ■第5回総会 2008.5.24

### 日本女子大学 (東京都文京区)

委任状を含め52名の出席のもと、第5回総会が日本女子大学において開催されました。はじめに理事長より、念願であった機関紙「食生態学—実践と研究」の創刊にともない本機関紙の誕生の願いが説明されました。また、所定の単位を修得し承認された「食生態食育プロモーターズ」が誕生したこと、地方が主体となった活動を展開するために地方拠点を設けていくこと等の説明もありました。議案は2007年度事業報告・決算報告の他、2008年度事業計画・予算、事務局移転にともなう定款変更の審議と承認がされました。「食に関する実践研究」助成事業の募集もスタートし、食育プロモーターズや会員の活動への積極的な参加が呼びかけられた総会となりました。

(運営委員：高橋千恵子)

## ■東京研修会 2008.5.24

### 「特定健診・特定保健指導」における「食」の支援

#### 日本女子大学 (東京都文京区)

「食」や「栄養」を取り巻く社会環境が大きく変わっていくなか、平成20年4月から、特定健診・特定保健指導がスタートしました。「食」にかかわる専門家として、どのように、支援をしたらよいかをテーマに、研修会を開催しました。

まず、「特定健診・特定保健指導」における「食」の役割—給食を核にした展開と期待—と題し、女子栄養大学石田裕美教授から、ポピュレーションアプローチとしての「給食の役割、有用性」等について、適切な栄養管理が実施されていれば、利用者の栄養状態は、良好に維持、増進、改善されるという実際の研究結果を交えての話がありました。続いて、給食施設における食事バランスガイドを活用した「食」支援をテーマとしたワーク

ショップ。神奈川県立保健福祉大学山本妙子教授からは学生食堂での、ジャパンウェルネス株式会社管理栄養士・嶋津恵子さんからは事業所での活用報告がありました。さらに、当フォーラム副理事長・高知大学針谷順子教授より、実物大そのまんま料理カード「食事バランスガイド編」をどう活かすかの話がありました。

(理事：森嶋道子)

## ■第2回公開研究会 2008.7.6

### 「3・1・2弁当箱法」の糖尿病予防・治療への展開

#### 日本女子大学 (東京都文京区)

第1回(2008.2.24)の研究会に引き続き、谷本真理子千葉大学看護学部准教授を講師に迎え、看護の立場から「3・1・2弁当箱法」のDM患者のケアとしての活用、KJ法(質的統合法)を用いた支援について、食知識が不十分な人と熟練者の2事例をもとに、研究の成果を話題提供していただきました。加えて、三浦美奈子東京女子医科大学看護学部助教からは、弁当箱法を活用・実践する上で、どの食事に取り入れるか等、糖尿病患者自身が行っている5つの工夫例についての話題提供をしていただきました。担当理事の尾岸恵子東京女子医科大学看護学部名誉教授の進行により、生活全体、食、弁当箱法といった“支援”を重層的にとらえることの必要性等のコメントがあり、活発な意見交換が行なわれました。

(副理事長：針谷順子)

## ■第24回食育セミナー

### ハート♡で食事をプレゼント!

2008.8.4 ~ 8.6

#### みなみかぜ地域交流センター(埼玉県川越市)

小1から中2まで総勢19名の子どもたちが参加。テーマは、昨年度に引き続き「ハート♡で食事をプレゼント!」。食事(お弁当)をプレゼントしたお相手

は、地域の8名のお年寄りです。現在の生活の様子や過去のお話を伺い、その方に喜んでいただけるような、その方だけのお弁当を、2日間で学習した「3・1・2弁当」の5つのルールや、朝・昼・夕食づくりで身につけた調理技術、覚えた料理を活かして準備し、オリジナルカード付きで、感動のプレゼントができました。お返しにと、折り紙で作った箸置きやあやとりをいただき、「みなみかぜ」のスタッフも交え楽しく、そして心温まる共食を実践しました。今回は、地域の方のご協力のおかげで、地場産の野菜や米、卵を使うことができ、自給率が限りなく100%に近い食事が実現され、おいしさも感動的でした。

(運営委員：高橋千恵子)

## ●プロモーターズ認定

2005年度から「食生態食育プロモーターズ」の認定を視野に入れ、「食生態食育プロモーターズ」養成講座をはじめ、連続講座や多くの研修会を実施してきました。「弁当箱法」を食育教材としたBコース(活動内容は、個人や団体の食のニーズに対応する食育に関する計画・実施・評価のプログラムマネジメントができる)の認定を現在21人の方にしております。認定期間は3年なので2011年5月23日までの期間となります。

早速、8月に行いました食育セミナーにプロモーターズの方もスタッフと一緒に活動をしました。会員の多くの皆様が「食生態食育プロモーターズ」となり、食に関わる専門家としての活動の場を一緒に広げていくことを願っております。

(理事：薄金孝子)

## ●食生態学連続講座のお知らせ

11/8、11/9、11/15、11/16の連続4回。同封の別紙をご覧ください!